

お前に

ラジオネーム：怪鳥ディセンバー

寂しくなり、空の上にいるお前に手紙を書くことにしたよ。

お前が亡くなってから8年。

傍らにいないことがまだ現実とは思えないことがある。

正月が過ぎて、俺は65歳になった。

生きていたらお前は63歳。

3人の娘は適齢期を過ぎたけれど、売れ残っている。

1人で暮らしている俺のことが心配なのかもしれないな。

家族は季節が進んでいくように、上を向いて

前へ前へと歩いている。

長い闘病の末、55歳で生涯を閉じることになり、

さぞかし無念だったろう。

お前の病が進行して、それはないだろうと俺は泣いた。

しばらくは仕事にも行かず、泣いて過ごした。

般若心経なるものを知り、解説本を何冊も読んだ

時期もあった。

何も見なくても唱えられるようになった。

肉体も精神も空であるなどと教えられても、

俺はまだ悟れないよ。

お前は生きたいと願ったはずだ。

今は苦しみの無いところにいるのだろうか。

お前の分も俺は生きる。孫の顔が見たいから。

仕事も一段落したので、

これからは意欲的に

社会貢献と町内会の活動にも力を注いでいこうと

思っているよ。

頻繁に車で1人キャンプに出掛けている。

お前を連れていけないのが無念だ。

リクエスト曲

＜ マークⅡ ／ 吉田拓郎 ＞